※令和３年度以前入学生用

学校番号	406

令和５年度　国語科

教科	国語	科目	現代文Ｂ	単位数	３単位	年次	３年次
使用教科書	「新編現代文Ｂ　改訂版」（大修館）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・３年生は卒業を間近にひかえた学年です。社会人として必要不可欠な言葉遣いや正しい日本語を学ぶとともに、その言葉を使って相手に物事を伝えられる豊かな表現力を身につけましょう。
・話し合いや文章記述、発表など、アクティブな活動を取り入れた授業を行います。
・様々な文章を「読む能力」を向上させるとともに、コミュニケーションのための「話す・聞く能力」や意思を伝えるための「書く能力」をしっかりと身につけてください。
・予習として必ず本文を読んでおきましょう。授業の後には内容を振り返って復習してください。
・提出物の期限は守りましょう。定期考査は学習計画を立てて臨んでください。

２　学習の到達目標

・目的や場にふさわしい語句を選んで、適切に思いや考えを表現することができる。
・目的や場に応じて的確に文章の内容や構成、登場人物の心情を理解することができる。
・人間関係において、互いを尊重し、相互理解を深め、正しく意思を伝え合うことができる。
・言語感覚を磨き、論理的な思考力、豊かな想像力を場面に応じて活用することができる。
・日本の伝統的な社会からグローバルかつ IT や AI などによって激変する社会へ変化している
この今の時代に適応できるように、現代の思想の潮流を理解する。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。	目的や場に応じて効果的に話し、的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。
評価方法	行動の観察記述の点検 （ノート、ワークシート等）	行動の観察 （発表等のパフォーマンスの評価）	記述の確認及び分析 (ワークシート、原稿用紙)	記述の確認及び分析（ﾜｰｸｼｰﾄ） 定期考査	行動の観察記述の確認 （ノート、ワークシート等） 定期考査 小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和３年度以前入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
一学期	随想一	教材： 「どんな人になりたかったか？」 「夢を建てる人々」	○			◎	○	a:考えの進め方や、情景や心情の推移など、文章の筋道を的確にとらえようとしている。 d:考えの進め方や、情景や心情の推移など、文章の筋道を的確にとらえている。 e:正しく理解し、使いこなせる言葉の数を増やしている。	a:行動の観察及び記述の点検 d：記述の確認及び定期考査 e:小テスト
	小説Ⅰ	教材： 「待合室」 「おぼろ月」	○			◎	○	a:文章に描かれている人物の心情を表現に即して読み、異なる立場から読み深めようとしている。 d:文章に描かれている人物の心情を表現に即して読み、異なる立場から読み深めている。 e:文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。	a：行動の観察 d：記述の確認及び定期考査 e：小テスト及び定期考査
	話す・聞く	教材： 自己PRワークシート	○	◎			○	a:何のために、誰に向かって、どのような条件で話すのかを考えようとしている。 b:何のために、誰に向かって、どのような条件で話すのかを考えている。 e:話すこと・聞くことに必要な文の組立てについて理解している。	a、b、e：行動の観察と確認
	評論一	教材： 「幸せの分量」 「鉄を削る」	○			◎	○	a:文章に描かれている人物の心情を表現に即して読み、異なる立場から読み深めようとしている。 d:文章に描かれている人物の心情を表現に即して読み、異なる立場から読み深めている。 e:文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。	a：行動の観察 d：記述の確認及び定期考査 e：小テスト及び定期考査

※令和３年度以前入学生用

二学期	詩	教材： 「小諸なる古城のほとり」 「小景異情」	○		◎		○	a:物事の様子や場面などを、読み手が言葉を通してありありと想像できるよう描こうとしている。 c:物事の様子や場面などを、読み手が言葉を通してありありと想像できるよう描いている。 e:詩を書くときに必要な文章の形態や文体の違いや修辞法について理解している。	ａ、ｃ、ｅ： 行動の観察と確認記述の点検
	評論二	教材： 「政治の基本は民主主義」 「家族化するペット」	○			◎	○	a:人物、情景、心情などを、どうして書き手がこのように描いているのかを捉え、象徴、予兆などに果たしている効果に気付こうとしている。 d:人物、情景、心情などを、どうして書き手がこのように描いているのかを捉え、象徴、予兆などに果たしている効果に気付いている。 e:文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。	a:行動の観察及び記述の点検 d、ｅ： 記述の確認及び定期考査
	小説Ⅱ	教材： 「こころ」	○		◎	○		a:物事の様子や場面などを、読み手が言葉を通してありありと想像できるよう描こうとしている。 c:物事の様子や場面などを、読み手が言葉を通してありありと想像できるよう描いている。 ｄ：人物、情景、心情などを、どうして書き手がこのように描いているのかを捉え、象徴、予兆などに果たしている効果に気付いている。	ａ、c、ｄ： 記述の点検と確認及び分析
	ディベートを行う	教材： ワークシート	○	◎			○	a:相手の考えを踏まえて自分の考えを説明したり、考えを相対化したりして話し合おうとしている。 b:相手の考えを踏まえて自分の考えを説明したり、考えを相対化したりして話し合っている。 e:話すこと・聞くことに必要な、文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。	ａ、ｂ、ｅ： 行動の観察と確認及び分析

※令和３年度以前入学生用

三学期	評論三	教材： 「敬語への自覚、他者への自覚」 「和の思想、間の文化」	○			◎	○	a:相手の考えを踏まえて自分の考えを説明したり、考えを相対化したりして話し合おうとしている。 d:考えの進め方や、情景や心情の推移など、文章の筋道を的確にとらえている。 e:論理的な文章のための接続や修辞について理解している。	ａ： 行動の観察と確認及び分析 ｄ、ｅ：記述の点検
	小説三	教材： 「鉄道員」	○		◎		○	a:文章の形態や文体、語句などに合った適切な表現の仕方で書こうとしている。 c:文章の形態や文体、語句などに合った適切な表現の仕方で書いている。 e:書くことに必要な、文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。	ａ、c、ｅ： 記述の点検と確認及び分析
	書く	教材： ワークシート 原稿用紙	○		◎		○	a:文章の形態や文体、語句などに合った適切な表現の仕方で書こうとしている。 c:文章の形態や文体、語句などに合った適切な表現の仕方で書いている。 e:書くことに必要な、文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。	ａ、c、ｅ： 記述の点検と確認及び分析

※ 表中の観点について

a:関心・意欲・態度　b:話す・聞く能力　c:書く能力　d:読む能力　e:知識・理解

※ 評価の観点のうち「関心・意欲・態度」と「知識・理解」については、すべての単元に位置付けて〇印を、また、その単元で主として扱う国語の領域（「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」）に関わる観点には◎を付している。